



令和5年度 第1回まなびあいサロン

5月26日(金)に第1回まなびあいサロンを開催いたしました。今回は8名が参加しました。

テーマ:『きこえにくさを補う機器や
アプリを体験しよう』

講師:本校 自立活動支援センター 教諭 森山 弘和



1 きこえを補う機器

◆デジタル無線補聴システムとは

- ・送信機が拾った音声を無線で補聴器・人工内耳に直接送信します
 - ・本校では幼小小学部の幼児児童を中心に「ロジャー」を利用しています。
- 「ロジャー」はソノヴァ社(フォナック補聴器)の製品名で、他社からも同様の製品が出ています。

ソノヴァ社(フォナック補聴器)・・・ロジャー
 GN リサウンド社・・・マイクロマイク(マルチマイク)
 コクレア社・・・ミニマイクロフォン2+
 オーティコン社・・・コネクトクリップ、エデュマイク



【効果】

- ・周りの雑音やノイズを軽減
- ・聞きたい声に集中できる
- ・離れていても声や音が聞こえる
- ・クリアな音声で聴こえる

【効果がある場面】

- ・少し距離がある場面・・・車の中、自転車、ベビーカーなどでの移動時、スポーツや習い事など
- ・少し周囲が騒がしい場面
・・・買い物や動物園などで



【気をつけること】

- ・マイクは口元から約20cm 以内で使用する。
- ・マイクは裏返しに着けない。服などのこすれ音にも注意する。
- ・マイク外の音(周囲の音)は小さくなっているので、できるだけ話し手にマイクを回す。



2 音声を文字にするアプリ

- ◆「UDトーク」や「ワイワイプローブ」などがあります。
- ・個人利用は無料です。
- ・話者が Bluetooth のマイクを使うと認識しやすくなります。

3 まとめ

- ◇自分にとって必要な情報保障は何か、いろいろ試して考えていくことが将来につながります。
- ◇「使ってよかった」という経験を積み重ね、必要な場面を自分で判断できるようにしていきましょう。
- ◇いずれの情報保障を使うにせよ、“ことばの力”が大切になってきます。お子さんに合ったことば(手話や日本語)を身に付けていきましょう。

～参加者の感想～

- ☆ 我が子が使っているロジャーが実際にどのようなものか知ることができて良かったです。
- ☆ デジタル無線補聴システムの具体的な内容を知ることができました。様々な場面で使ってみて、本人が一番聞こえやすい使い方を見つけられたらいいなと思います。
- ☆ いろんな機器が開発されていて、大変興味深かったです。